

- 問1 鎌倉時代後半に元（モンゴル帝国）が二度にわたって日本へ侵攻した元寇のうち、1274年の文永の役から数えて二度目に当たる1281年の大規模な襲来を何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。（2023年 高知県公立入試 類似）
1. 弘安の役
2. 慶長の役
3. 承久の乱
4. 文永の役
- 問2 明治時代の外交政策をまとめた資料において、1894年に調印された日英通商航海条約が日本の国際的地位を高める大きな一歩になったと説明されています。この条約が果たした役割として、最も適切なものはどれですか。（2026年 高知県公立入試 類似）
1. ポーツマス条約を締結することで、ロシアに韓国における日本の指導権を認めさせた。
2. 日清戦争の講和会議において、清から下関条約を引き出し、多額の賠償金を得た。
3. 日本が長年目標としていた不平等条約の項目のうち、領事裁判権の撤廃を実現させた。
4. 岩倉使節団の派遣による予備交渉の結果、欧米諸国との関税自主権を完全に回復した。
- 問3 室町時代に、中国の明から伝わった文化の影響を受けて発達した、墨の濃淡のみで自然風景などを表現する絵画様式を何というか答えなさい。（2021年 高知県公立入試 類似）
1. 唐獅子図屏風
2. 水墨画
3. 浮世絵
4. 大和絵
- 問4 江戸時代中期、深刻な幕府の財政難を解決するために、これまでの農業重視の政策から転換し、商工業の発展を利用して財政を立て直そうとした人物は誰ですか。（2021年 高知県公立入試 類似）
1. 水野忠邦
2. 徳川吉宗
3. 田沼意次
4. 松平定信
- 問5 室町時代の文化において、禅宗の考え方の普及とともに発達した「水墨画」の特徴と作者について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 奥州藤原氏が、平泉の地に浄土教の思想を反映した金色の建築や仏画の文化を築いた。
2. 紀貫之が仮名文字とともに、四季の情景を繊細な色彩で描く大和絵の技法を確立した。
3. 空海が唐から持ち帰った、仏教の世界観を色彩豊かに描いた曼荼羅が広く流行した。
4. 雪舟が明で学んだ技法を活かし、墨一色の濃淡によって日本の風景などを描いた。
- 問6 世界の陸地面積と人口の割合を比較した統計において、面積の割合は約24%で州別で最大であり、人口は世界全体の約6割を占めているため、他の州に比べて人口密度が非常に高くなっている州はどこですか。（2021年 高知県公立入試 類似）
1. アフリカ州
2. ヨーロッパ州
3. 北アメリカ州
4. アジア州
- 問7 日本国憲法の構成をまとめた資料によると、天皇に関する規定は第1章に置かれています。この憲法第1条において、天皇が「象徴」としての地位にある根拠として示されている考え方はどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）
1. 古くから伝わる伝統と血統のみに基づく
2. 国会における特別多数の議決に基づく
3. 内閣総理大臣による指名に基づく
4. 主権を有する国民の総意に基づく
- 問8 現代の経済において、企業は単に利益を追求するだけでなく、環境保護や社会貢献、教育支援といった活動を通じて、社会の中で果たすべき役割を担うことが求められています。このような、企業が社会に対して負うべき責任を何と呼びますか。（2026年 高知県公立入試 類似）
1. 法令遵守（コンプライアンス）
2. コーポレート・ガバナンス
3. 企業の社会的責任（CSR）
4. 情報開示（ディスクロージャー）
- 問9 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。（2021年 高知県公立入試 類似）
1. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと
2. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと
3. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと
4. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと
- 問10 1221年に起きた承久の乱の結果、日本の政治体制はどのように変化しましたか。その背景と影響として最も適切な説明を選びなさい。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 幕府が朝廷を監視する体制が整い、幕府の支配力が西日本にまで大きく広がった。
2. 武士の間で内乱が激化し、鎌倉幕府が滅亡して建武の新政が始まった。
3. 朝廷が軍事力を強化し、幕府から政治の実権を完全に取り戻した。
4. 貴族が政治の中心に再び咲き、執権政治が終わりを告げた。
- 問11 景気が過熱している好況期において、政府が景気の調整を図るために実施する財政政策の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. 増税を行い、公共事業を拡大する
2. 減税を行い、公共事業を削減する
3. 増税を行い、公共事業を削減する
4. 減税を行い、公共事業を拡大する
- 問12 東北地方に位置するある県では、製造品出荷額等が約9兆522億円に達し、工業が非常に盛んです。この県の農業統計を見ると、米の産出額が156億円であるのに対し、野菜の産出額が912億円と高く、県庁所在地などの都市部に向けた生産が特徴的です。このデータが示す県はどこですか。（2024年 高知県公立入試 類似）
1. 宮城県
2. 山形県
3. 秋田県
4. 福島県
- 問13 市場において複数の企業が価格を話し合って決める「カルテル」などの行為は、消費者の利益を損なうため法律で禁止されています。このような不正を監視し、独占禁止法を運用する役割を担う、独立性の高い行政機関の名称を答えなさい。（2019年 高知県公立入試 類似）
1. 金融庁
2. 消費者庁
3. 公正取引委員会
4. 日本銀行
- 問14 鎌倉幕府の組織において、執権の管理下に置かれた地方組織のうち、京都の警備や西日本の統治を担当し、承久の乱の後に重要性が増した機関の名称を選びなさい。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. 侍所
2. 六波羅探題
3. 政所
4. 問注所

答え合わせ・解説

問1	答え 1 弘安の役	元（モンゴル帝国）の皇帝フビライ・ハンは、日本を服属させるために二度の遠征を行いました。一度目の1274年は「文永の役」と呼ばれ、二度目の1281年は「弘安の役」と呼ばれます。文永の役あとの鎌倉幕府が九州沿岸に防塁を築いて警戒を強めていたなか、元軍は再び大規模な軍勢で日本を襲撃しました。選択肢にある慶長の役は安土桃山時代の朝鮮出兵、承久の乱は鎌倉時代初期に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして起こした戦いです。
問2	答え 3 日本が長年目標としていた不平等条約の項目のうち、領事裁判権の撤廃を実現させた。	明治政府は岩倉使節団の派遣など、初期から条約改正に向けた努力を続けてきましたが、欧米諸国からは法整備の不備などを理由に拒否されてきました。しかし、日本の近代化が進んだことや、イギリスが東アジアでの協調相手として日本を評価したことから、陸奥宗光の代で領事裁判権の撤廃が実現しました。なお、もう一つの課題であった関税自主権の完全回復は、日露戦争後の1911年に小村寿太郎によって達成されています。
問3	答え 2 水墨画	室町時代、禅宗の普及に伴い、禅僧たちの間で墨一色の濃淡によって深い精神性や自然を表現する技法が好まれました。これは中国の宋や明の時代の絵画に影響を受けたもので、当時の簡素で気品のある東山文化などの特色をよく表しています。
問4	答え 3 田沼意次	江戸時代中期の老中であった田沼意次は、商工業者の力を利用した積極的な経済政策を打ち出しました。それまでの享保の改革が質素倹約や農業による年貢増徴を中心としていたのに対し、商業を重視して幕府の財政難を打開しようとした点が大きな特徴です。
問5	答え 4 雪舟が明で学んだ技法を活かし、墨一色の濃淡によって日本の風景などを描いた。	水墨画は墨の線やぼかしだけで空間を表現する絵画形式です。雪舟は明での修行を経て、中国の模倣に留まっていた日本の水墨画を、日本の風景を題材とした独自の芸術へと発展させました。
問6	答え 4 アジア州	アジア州は、世界の陸地の4分の1に満たない面積でありながら、人口が突出して多いため、人口密度が高くなっています。これに対し、アフリカ州は面積の割合こそアジア州に近い（約23％）ものの、人口の割合は約17％にとどまっています。このように、世界の人口はアジア州に大きく偏っているのが現状です。
問7	答え 4 主権を有する国民の総意に基づく	日本国憲法では「国民主権」が基本原理の一つとなっており、天皇の地位もまた、主権者である国民全体の意思（国民の総意）に基づいていることが第1条に明記されています。大日本帝国憲法下では天皇が統治権を総攬（そうらん）する主権者でしたが、現行憲法ではその地位の基盤が国民にあることが大きな特徴です。
問8	答え 3 企業の社会的責任（CSR）	企業は経済活動の中心を担う存在ですが、利益を上げるだけでなく、社会の一員としてより良い社会づくりに貢献する役割も期待されています。これを「企業の社会的責任」と呼び、英語の頭文字をとってCSRと表現されることもあります。
問9	答え 1 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。
問10	答え 1 幕府が朝廷を監視する体制が整い、幕府の支配力が西日本にまで大きく広がった。	承久の乱以前、幕府の支配力は主に東国に限定されていましたが、乱の勝利を経て、上皇側の領地を没収し、そこに多くの御家人を地頭として配置しました。これにより、朝廷の権威は低下し、幕府による全国的な支配体制が確立される契機となりました。
問11	答え 3 増税を行い、公共事業を削減する	好況の際には、民間の消費や投資が活発になりすぎることによって物価が急騰する恐れがあります。そのため、政府は税金を増やして国民や企業の手元資金を減らすとともに、公共事業への支出を抑えることで、社会全体の有効需要を抑制し、景気の過熱を鎮める役割を果たします。
問12	答え 1 宮城県	宮城県は、東北地方において製造品出荷額等が突出して多い工業県としての側面を持っています。農業においては、全国的に有名な米どころである一方、東北最大の都市である仙台市という大きな消費地を抱えているため、都市住民向けに新鮮な野菜を供給する近郊農業が発達しており、統計上も野菜の産出額が高い割合を占めるという特徴があります。
問13	答え 3 公正取引委員会	独占禁止法は、企業間の自由な競争を促し、消費者が質の高い商品を適正な価格で購入できる環境を守るための法律です。この法律に基づき、独占の禁止や不当な取引制限の監視を専門的に行うのがこの機関の役割です。
問14	答え 2 六波羅探題	鎌倉幕府の中央組織には軍事の侍所、政務の政所、裁判の問注所がありましたが、これとは別に地方組織として守護や地頭が置かれました。六波羅探題は、特に京都という重要な拠点を治めるために置かれた特別な地方機関です。承久の乱以前は京都守護と呼ばれていましたが、乱ののちに権限が大幅に強化され、六波羅探題となりました。